



Recruiting Guidebook

マルマテクニカ株式会社



社員の幸せと豊かな生活を実現する

“ユートピア”を目指して。

太平洋戦争中の昭和18年11月。当時、日本から満州に航空機産業を移駐する計画、通称「マルマ計画」がありました。この計画の為に、技術者とその家族、約5万人の日本人が満州にわたりました。戦後、職を失い日本に帰国した彼らに、農業や工業、運送業などの職を与えて救済すべく、政府は「マルマ計画帰国者救済組合」を設立したのです。

この組合の下、各地で様々な計画があった中、東京・世田谷で整備事業を行おうとした者たちがありました。それがマルマテクニカの創業者達です。しかし設立直前にすべての事業体が解散を命じられることに。そこで彼らは、一般企業としてのスタートを決断し、現在のマルマテクニカの原点となる「マルマ車両整備工場」が誕生しました。

創業当初は仕事に恵まれず、経営は悪化するばかり。少しでも社員の意欲を高め会社を存続させようと奮闘したのが、創業者の一人である先代の社長でした。「食べていくのがやつの時代だからこそ、まじめに働く人には豊かな生活を送ってほしい」という想いから生まれた言葉が『働く者のユートピア建設』。以来、社訓の第一項目として掲げられ、創業70余年が経った今も変わらず大切に伝えられています。働きやすい環境づくりや社内制度の整備など努力を続ける背景には、社員全員の幸せを考えたこのような歩みがあります。

様々な個性を融合し、

目指す先は「100年企業」。

創業から70余年。これまでを振り返ってみると、メイン事業である建設機械整備のみならず、製造・輸出・輸入と新たな分野にも積極的にチャレンジし、事業を拡大してきました。これから先、100年企業を目指し歩んでいく中で、さらに今とは違う分野や新しい場所へと進出し、事業を進展させることが必要となってくるでしょう。その時にこそあなたが力を発揮し、会社の中核を担っていただきたいと考えています。

機械が好きな人だけでなく、視野の広い人、国際感覚に優れた人、集中して作業ができる職人タイプの人など、様々な人がいることでバランスの取れた組織が成り立つと考えています。あなた自身の個性やこだわりを活かして、一緒に次の時代をつくっていきませんか？



▲1946年創業、前身となる「マルマ車両整備工場」の社員集合写真。



▲2016年、創業70周年記念式典での社員集合写真。

02. 職種紹介

世界から信頼される技術で行う、唯一無二のモノづくり。



整備

各種建設機械の整備、改造はマルマテクニカの原点とも言える仕事です。創業時から受け継いできた整備技術で、お客様の満足を勝ち取ります。

入社3年目・男性の ある一日	8:30	8:45	12:00	12:45	14:40	15:20	15:30	17:20
	朝礼	組立作業	昼休憩	梱包作業	委員会出席	休憩	機械動作テスト	終業

朝礼では1日の業務確認、職長からの連絡事項の共有、安全に作業を行うためのKY(危険予知)シートの作成などをします。職場の代表として出席する委員会は月に1度実施され、各職場で起きた危険作業の共有や業務改善について話し合う大切な場です。この日は、自社オリジナル製品の組立作業・試運転、輸送する部品の梱包作業などを行いました。帰宅後は趣味の時間を楽しんでいます。



製造

機械加工、溶接加工、組立、検査、出荷をする仕事です。お客様のご期待に応え、ご満足いただける製品を作り上げます。

入社4年目・男性の ある一日	8:30	8:45	12:00	12:45	15:20	15:30	17:20
	朝礼	溶接作業	昼休憩	溶接作業	休憩	溶接作業	終業

製造部門の溶接加工を担当。基本的に1日中工場内での作業が多いです。部品にもよりますが、1日で製品1～2台分の仮溶接を1人で行います。時間がある時は機械の品質がより良くなるアイデアを考え、改善に向けた提案書を作成することも。また、作業の問題点や改善点などを洗い出して仕組みを変えていくなど、より効率よく作業するための活動も行います。

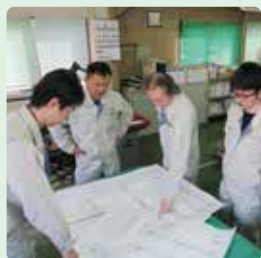


営業

当社の製品やサービスを販売する仕事です。お客様とマルマテクニカの接点として売り上げとともに信頼を得るという大切な役割があります。

入社5年目・男性の ある一日	8:30	8:40	12:00	12:45	13:30	15:20	15:30	17:20
	朝礼	英会話教室、他	昼休憩	梱包作業	進行状況確認	休憩	顧客対応・書類作成	終業

マルマテクニカでは輸入製品も扱っており、業務で英語を使う機会がある社員は、社内で行う英会話の授業を週1回受講できます。この日の業務は、お客様との打ち合わせおよび工場内のご案内、製品の発送準備など。進行状況確認では、整備担当の社員と不具合が疑われる製品の検証実験や対策協議をしました。社内にいる日は、昼休みに美味しい社食を食べることが楽しみの1つです。



開発・設計

既存製品の改良や、新製品の開発・設計をする仕事です。長年にわたって貯えたノウハウを活かし、お客様の理想を形にします。

入社5年目・男性の ある一日	8:30	8:40	12:00	12:45	15:20	15:30	17:20
	朝礼	図面作成、材質検討	昼休憩	図面作成・確認	休憩	次工程へ図面の配布	終業

図面作成は、形状・寸法・材質を検討するところから始まります。材質を決める際は硬度の測定が必要になることもあるので、同じ工場内の品質保証課の社員と、何社かの類似製品の硬度を測定し検討します。図面が完成したら上司に確認をしてもらい、その間に他の図面作成に取り掛かります。定時後は残業をすることもあれば、労働組合活動やJLの会の活動で会議に出席することもあります。

03. 社内制度紹介

すべての社員が「働きがい」と「働きやすさ」を感じられるように

自己申告書

年に1回、会社への意見や疑問、現状の満足度や将来のキャリア希望などを全社員が記入して、上司と面談する制度。一人ひとりの意見や考えに役員や社長も丁寧に目を通します。日常のコミュニケーションを補完する大切な仕組みです。

JLの会

入社5年目以降35歳以下の社員で構成された組織。入社4年目までの若手社員の相談役となり、食事会を通して不安や疑問を解消してくれます。また、社内コミュニケーションの活性化を図るイベントの企画運営を通じて管理スキルを学ぶことができます。

教育制度

業務上で必要な資格はもちろん、更なる知識装着のために通信教育の受講もサポート。受講は任意ですが、修了すると料金は全額補助。通信教育以外にも社内外のセミナー等を受講してもらう機会を提供し、全社員のスキルアップをサポートしています。

改善提案制度

より働きやすく、生産性の高い職場環境を整えるための制度。作業の効率化・コスト削減・社内美化など、様々な改善の提案が可能。提案者全員に1つの提案で年に2回報奨金が支給されます。提案件数、評価が高い人やグループには創立記念日に表彰され、3回目の報奨金支給があります。

その他

「職場懇談会補助」「独身寮」「食事補助(社員食堂完備)」「クラブ活動」など、様々な福利厚生があります。安心してスキルを高めること、仲間と共に社会人生活を楽しめる様に、今後も働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

04. 年表で知るマルマテクニカ



1946年 創業

自動車の整備、リヤカーの製造販売、蓄電池の改造販売、エンジンの再生販売、ブルドーザの改造整備や再生販売などの事業からスタート。

▲ 自動車整備を行っていた社員達

1960年代

整備の機械化、トラクタ部品再生機械を日本で初めて導入し業界の脚光を浴びる。



▲ バイブルドーザ(特殊アタッチメントの製造開始)



▲ 特殊工具の製造(建設機械の整備で威力を発揮)



1970年代

海外メーカーとの技術提携などによりアタッチメントの品質や設計技術が向上。

▲ R.O.P.S. スチールキャブ(転倒時運転者保護装置付き)

1990年代



大型の木質系・金属系リサイクル機械の輸入を本格化。

▲ 大型タブグラインダ(大木・樹木・廃材の粉碎)



2016年 創業70周年

東京・相模原・厚木・名古屋。全拠点の全従業員が一堂に会し、式典を挙げる。

▲ 挨拶をされる森木社長

1946

- 事業の主体を建設機械にシフト。
- ダム建設の機械化に合わせ、建設現場への整備技術員派遣を開始。

1956年

米国大手建設機械メーカーのサービス工場認定を受ける。

1959年

特殊アタッチメントや特殊工具の設計、製造、販売を開始。

1960

- 整備員の海外派遣や駐在に応じる。

1963年

名古屋工場を開設し整備事業を拡大。整備工場用設備機械の設計、製造を開始。特殊工具の販売を拡大。

1966年

相模原工場を開設し、建設機械用アタッチメントの製造、販売を開始。

1970

- トンネル工事の機械化に合わせ、専用アタッチメントの開発が活発化。
- 海外プロジェクトが本格化し、海外との交流が大幅に増加。

1974年

米国メーカーと販売代理店契約を締結し、当社として初めて輸入機械の国内販売事業を開始。

1978年

油圧機器再生専門工場を開設。

- お客様の要望をかなえるために様々な特殊機械の開発、製造、販売を開始。

1990

1996年 創業50周年

社名をマルマ重車輛(株)からマルマテクニカ(株)に変更。創業の地に本社ビルを竣工。

2000

2003年

ディーゼル車用排ガス規制対策機器の販売を開始。首都圏および近畿一円のバス・トラックに採用される。

2006年 創業60周年

ISO9001 認証取得

2010

- 油圧トランスミッションの再生事業を本格化。
- 海外委託生産の取り組みを開始。
- トラック搭載型クレーンの輸入販売を開始。
- ディーゼルエンジンの輸入販売ならびに搭載ユニットの製造販売を開始。
- 設計部門に3DCAD、FEM解析を導入。ECUやラジコンを用いた制御設計を導入し、製品対応力を強化。
- ディーゼルエンジン用コモンレールインジェクタの整備用クリーンルーム及び関連設備を導入。
- 無電柱化工事用溝掘削機械の輸入販売を開始。



米国キャタピラー社製D7ブルドーザの再生



南ベトナム、ダム建設工事への建機納入サービスで3名、3ヶ月派遣



スノウプラウ(除雪用ブレード)



世界中の建機整備を対象に開発した油圧機器万能試験機



超ロングブーム(高層ビルの解体に活躍)



地下1階、地上6階建て本社ビルが竣工



ラバウンティシャー(金属切断機)



日本では珍しいアーム式のクレーン



非開削水平推進ドリル(地下埋設用掘削に活躍)

歴史を守り、新たに挑み、創業100周年へ。次の時代を担っていくのは、あなたです。